

hamamatsu monodukuri meister

浜松ものづくりマイスター

平成24年度 浜松ものづくりマイスター認定者

有限会社豊岡クラフト

取締役会長 ^{やま} ^{ざき} ^{はじめ} 山崎 肇 氏

専門相談対応分野

木工製品の企画・開発・設計・製作

書見台、書類整理引出し、回転式ペン立て、名刺ケースなど机の上に置く文具から、ジュエリーボックス、インテリア小物、マガジンラック、机やキャビネットなど小型家具まで、趣味性や意匠性、美術性の高い工芸品のような味わいを持つ高級木工製品を企画・開発・設計・製作しています。



豊岡クラフトのショールーム
現在約100点の製品を商品として揃えている

マイスター Profile ~資格・実績・受賞等~

- 1980年 初の自社製品「書見台」を開発、丸善株式会社より発売する
- 1985年 自社ブランド「シニアコレクション」企画・開発
丸善株式会社、株式会社伊東屋、株式会社高島屋などから発売
- 1986年 丸善ブランド「森林楽」を企画・開発、以後毎年新製品を追加
- 1991年 森林楽「移動書斎」を企画・開発、発売する
- 1994年 静岡県工業試験場（静岡県デザインセンター）：
静岡さいこうデザイン製品「シニアコレクション」認定
- 1995年 自社ブランド「波のコンチェルト」を企画・開発、発売する
静岡県工業試験場（静岡県デザインセンター）：
静岡さいこうデザイン製品「波のコンチェルト」奨励賞受賞
- 1999年 「動く小机」を企画・開発
カタログハウス「通販生活」で発売し、ヒット商品となる
静岡県工業試験場（静岡県デザインセンター）：
ものづくりデザイン静岡'99「動く小机」選定
- 2000年 ルーペ付書見台、薬箱、回転式スタンド、書類整理箱等、
約10種類をソニーファミリークラブより発売、好評を得る
- 2008年 ライティングデスクほか4点をJAL機内誌「JAL SHOP」より発売
ANA機内誌「ANA SKY SHOP」創刊20周年オリジナル商品
「オーバーナイトケース」を開発、同機内誌より発売
- 2009年 小学館プロダクション、世界文化社の通信販売開始
自社Web販売も始動

実用新案／5件

資格／木材加工用機械作業主任者

有機溶剤作業主任者



持ち運ぶときに傾けても引き出しが落ちないオーバーナイトケース



斜めに収納されて、名刺が少しずつずれて案に取り出せる名刺ケース



隣の文具と干渉しないで回転できるロータリーフリースタンド

有限会社豊岡クラフト 取締役会長 山崎 肇 氏

所在地 浜松市北区根洗町1457-2 HP www.toyocraft.com/ BLOG toyocraft.hamazo.tv/



- ◎1940年
浜松市中区馬込町生まれ
- ◎1959年
浜松北高等学校卒業
- ◎1963年
静岡大学工学部電子工学科卒業
日本電気株式会社(NEC)入社
マイクロ波衛星通信機器の
開発・設計に携わる
- ◎1969年
父・山崎正治が
有限会社豊岡木工所を創業
- ◎1976年
有限会社豊岡木工所入社
- ◎1989年
有限会社豊岡クラフトに社名変更

父・山崎正治は、木工技術者として日本楽器株式会社(現・ヤマハ株式会社)などに勤務して、多くの部下を指導していました。退職した後、有限会社豊岡木工所を1969年に創業。株式会社服部時計店(現・セイコーグループ)の精工舎より、木の加工について、顧問として指導して欲しいと請われ、掛け時計や置時計の木枠の製造と併せて技術指導を開始しました。子供の頃から、父のものづくりの様子をいつも面白そうだなと見ていた為か、勤めていたNECを退社し、父の会社に入社しました。

当時から、精度の高い木工製品、量産を続けても低下しない品質が高く評価されており、その伝統は現在まで引き継がれています。

掛け時計や置時計の木枠の製造で技術を習得し、時計木枠の製作で出る端材を活用しての自社製品の開発を思いつきました。当初は、どこに売れるのかとかデザインの方法もよくわからずに、何点か文房具を試作。最初の自社製品は、書見台でした。本を読みやすい角度に斜めに立てかけて調節するものです。

東京銀行にいた従弟の紹介で丸善株式会社に商談に行ったところ作品に評価をいただき、取り扱いをしていただけることになりました。また、プリジストンサイクルの当時の社長であった石井公一郎氏の出版記念品として採用された書見台が、伊東屋の目に留まり、取引が広がりました。その後、それまでの木製品とは一味違うデザインの「シニアコレクション」を開発したところ丸善創業120周年の記念オリジナル製品として「シニアコレクション」を基にした「森林楽シリーズ」を開発し発売することができました。当時の百貨店などは丸善で扱っていることから信用されて、「シニアコレクション」の取引が容易にはじまりました。

「シニアコレクション」の開発では、私はデザインを本格的に学んでいない為、静岡工業試験場のデザイン室長に相談して、指導を受けました。引き出しの最初の試作を持って、これから先のデザインをどうしようと相談に行ったところ、それまでの引き出しは、前面だけ塗装されているのが普通で、側面や中は木地がそのままでしたが、私の試作品は、それだけでトレイとしても使えるもので、外周がすべて見えてもいいというものでした。これは面白いデザインだといって、これで大中小つくればとか、一緒に持って行った書見台も同じ雰囲気で格子にしたらというヒントをいただきました。同じ雰囲気をつかってシリーズを作ればいいということは、その時に教えられ、ベースのデザインを同じものにする事で、その後、「シニアコレクション」と「森林楽」は毎年、新作を追加し、合わせて100点以上のシリーズとなりました。

最近、百貨店の扱いが頭打ちになってきて通信販売へ移行。通信販売では、ライトアップショッピングクラブ、カタログハウス「通販生活」他数社で取り扱っています。

しごとの相棒



昇降盤

丸鋸がテーブル上に頭を出している
ガイドに沿って材料を押しつけて
一定の幅で切断することができる

ベルトサンダー

高速でベルト状のサンドペーパーが回転している
材料を研磨するために使う

高周波接着機

塗布した接着剤を乾燥させて
接着する装置

仕事の手応え/喜び/やりがい

お客様の中には、この商品を見つけてよかったと連絡をいただくことがあり、豊かな気持ちになります。書見台を20年間使い続けられて部品が壊れて、まだ使い続けたいから直して欲しいと送ってくる場合があります。塗りの摩耗した様子などから、大切に使用いただいていることがわかり、感激します。依頼を受けて送った特注品が希望通りで満足したとの連絡を受けた時など、喜びとやりがいを感じます。お客様の立場で使う人の立場でどれだけ考えるのかということは大きな要素だと思います。

プロになる方法

まず、得意なことを見つけること、夢中になることが大事です。自分の好きなことを見つけること。黙っていても自ら勉強します。好きなことを見つけて、それを実際に自分でやってみる事です。自分なりにアイデアを出して、工夫する楽しみも自分で見つけ出すことです。いろいろやっていると失敗することがあります。それを積み重ねていくと、こうすると失敗するということがわかってきます。失敗の積み重ねがその人のノウハウになっていると思います。また、美術館や博物館、店等へ行って、本物を見る、作者のセンスを感じとることは大事なことだと思います。

プロフェッショナルの視点

木は加工後温度により寸法が変わったり、歪んで形が変化します。湿気の入らないような工夫と、加工したら時間をおかずすぐに組み立てることが変形を防ぐコツです。製品の美しさと加工精度がよく使う人の立場に立ってどれだけ考えていられるのかだと思います。